

令和 8 年度第 5 学年臨床実習実施要領

1 臨床実習の概要

臨床実習では、医療チームの一員として、病だけをみるのではなく、病を患う人をみる医療に積極的に参加し、総合的臨床能力の基礎としての知識・技能・態度を習得する。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- I 豊かな人間性と倫理観
- II 生涯学習
- III 医学知識と技術（診療の実践）
- IV 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- V 地域医療・社会貢献・国際貢献
- VI 科学的態度・探究心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）：

以下は、金沢医科大学の学修成果（アウトカム）のなかで、臨床実習に関連する説明である。さらに具体的な内容は、令和 4 年度改訂版 医学教育モデル・コア・カリキュラム及び金沢医科大学医学部マイルストーンを参照されたい。

I. 豊かな人間性と倫理観

- 1. 医師としてのプロフェッショナリズムを自覚し、思いやりをもって責任のある医療を行える。
- 2. 倫理的問題を理解し、医療人として最善の行動選択ができる。
- 3. 個人間・性差・家族間・地域間・諸文化圏・国際社会における多様性を尊重できる。

II. 生涯学習

- 1. 自己主導型学習能力を身につけ、常に自己の向上を図れる。

III. 医学知識と技術（診療の実践）

- 1. 医学・医療に活用できる幅広い基礎医学と臨床医学の知識を身につけている。
- 2. 医療面接を含めた基本的診療手技を安全に実施できる。
- 3. 行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学の知識を修得し、臨床に応用できる。
- 4. Problem-oriented Medical Record (POMR) に基づく診療録の記載ができる。
- 5. 医療安全を理解し、患者・家族および医療従事者にとって最善で安全な医療を行うことができる。
- 6. 医学的根拠（エビデンス）や最新の情報を、適切に収集・選択して提案・活用できる。

（Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。）

IV. 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力

- 1. 患者中心の医療を実践できる。
- 2. 利他的な態度で、患者を尊重した医療に取り組める。
- 3. 患者に関わる身体的・精神的・社会的背景や問題を包括的に理解し、コミュニケーションに活かせる。
- 4. 医療チームの役割を理解し、各チームメンバーを尊重し、コミュニケーションを

図れる。

5. プライマリ・ケアと専門医療の役割分担を理解し、適切に該当部門・機関と連携を図れる。

V. 地域医療・社会貢献・国際貢献

1. 地域医療に参画し、プライマリ・ヘルス・ケアを計画できる。
2. 保健・医療・福祉に関わる社会資源を把握し、活用できる。
3. 医療制度・医療経済に対して問題意識を持ち、考察できる。
4. 医療の国際化に対応できる異文化理解・適応力、コミュニケーション力を持ち、プライマリ・ヘルス・ケアを実践できる。

VI. 科学的態度・探究心

1. 科学的理論と方法論を理解できる。
2. 科学的問題に興味を持ち、論理的・批判的に考え、調査や研究に取り組める。
3. 調査や研究の成果を論理的文書として発信できる。

4 方略

各臨床実習科病棟、ならびに外来臨床実習、場合によっては学外実習もあり得る。

5 予習内容

詳細は予習ノート内の各臨床実習科の頁を参照すること。

「令和4年度改訂版 医学教育モデル・コア・カリキュラム」及び「金沢医科大学医学部マイルストーン」の各診療科に該当する項目。

6 実習期間

令和8年4月1日（水）～令和8年12月4日（金）の計32週間。

7 評価および成績

1. 臨床実習の評価は、各臨床実習科の評価基準に従って評価される。
2. 評価は1～5の5段階で、全講座の平均評価を100点換算し、成績とする。
3. 全欠席の場合やアンプロフェッショナルな行動が見られた場合は0点扱いとする。

8 欠席および補習

1. 臨床実習は原則皆出席が当然であり、正当な理由のない欠席、遅刻、早退などは認められないが、発熱や感染性腸炎や感染症が疑われる場合は実習に参加してはならない。
2. 万が一、欠席する場合の連絡方法については、別紙「臨床実習中の欠席、遅刻、早退の際の連絡について」を参照すること。
3. 学校感染症罹患等でやむを得ず（長期間）欠席し、講座としての評価ができない場合、必要に応じて補習を実施する。

9 服装、ネームプレートの着用について

- ・ 学生証、Student Doctor 認定証、ワクチン接種歴カード、医療安全ハンドブックを常に携帯すること。
- ・ 服装、身だしなみなどに注意し実習に当たること。

- ・ 服装は、上はケーシー、下は黒のチノパンもしくはそれに準ずるもの、履物は白のシューズを身につけること。クロックスなどサンダルは禁止。ネイル・まつげエクステ・髭・茶髪は厳禁。女子の長い髪は束ねる。男子の長髪は禁止。
- ・ 防寒対策として白衣の着用は認めるが、白衣の中にはケーシーを着用すること。パーカーやトレーナー等が見えるような服装は認めない。
- ・ ケーシーの中のシャツは白色を基本とし、黒、紺、グレーも可とする。長袖のシャツがケーシーの袖から出ても問題はないが、手の動きを阻害しないよう適切な長さを選ぶこと。
- ・ ケーシーと白衣は学内で着替えること。（ケーシーと白衣を着たまま学外を歩かない。学外実習においても実習病院の更衣室等を使用すること。）
- ・ 服装に関しては以上のことを原則とするが、各診療科の特性を鑑みて適宜指導することがある。各診療科の指導に従うこと。

1 0 教育担当者

各臨床実習科担当教員（詳細は各臨床実習科要項参照）

なお、臨床実習スケジュール表には主に担当する教職員名を記載し、その他教育担当者も適宜助言・指導を行う。

1 1 参考図書・文献

詳細は各臨床実習科要項参照。